

〈第5回〉 東大生との交流会 [R6.9.12(木)]

9月12日(木) 16:40~17:30、大会議室にてわたしのみらいゼミ「東大生との交流会」を実施し、16名の生徒が参加しました。

5人の東大生(大学院生、文科1類2年生2人、理科2類2年生、理科1類(農学部推薦合格者))が来校し、高校生の質問に答えました。「おすすめの学食メニュー」、「モチベーションの保ち方」、「合格した時の気持ち」、「(浪人経験者へ)部活動をしなかった方がよかったか?」、「進振り制度について」、「苦手との向き合い方」、「身の回りのすごい人」、「今後どんな人生を歩んでいくのか」など様々な質問が出ました。丁寧に時折笑いを交えながら具体的に質問に答えてくれ、予定時間が終了した後も残って東大生に質問を続ける様子が見られました。どんな質問にも「なんとなく」や「とりあえず頑張る」など曖昧な表現ではなく具体的に論理立てて答えてくれていた様子が印象的です。特に印象に残っているのは将来の進路についての質問に対し、「大学4年間は自分を磨く時間。しっかり自分を磨いておけば、官僚や民間、司法試験、どの道に進みたいと思っても役に立つ。」と答えたことです。進路に迷っている生徒や、大学進学がすでに決まっている生徒に聞いてもらえてよかったなあと感じました。苦手科目との向き合い方に関しても、「好きなものは頑張れる。だから好きになる努力をした。英語の小説を1冊買って勉強が進むたびに理解できる箇所が増えていくのが楽しくて勉強がはかどった。」という解答や、「合格から逆算するに数学で〇点必要。現状まったく分かっていないから同じ問題を10回解き、人に説明できるようになるまでやってから過去問に取り組む」といった具体的な回答をもらえ、残りの高校生活の送り方を考える、有意義な時間になったようです。



↑ 東大生の話を真剣に聞く様子



↑ 東大生と記念写真撮影

参加した人たちの感想

- ・東大生は自分を俯瞰的に見ていたので、自分もそうしたいと感じた。
- ・親に感謝を忘れず過ごしてすごい。部活で得られたことはお金には変えられないし、素晴らしいことで、部活をやり切ったから勉強もやり遂げることができたという考え方がすごい。なんでもやりきる力を大切にしたい。
- ・入学してから進路を決めることができるシステムはすごくいいなと感じた。

次回の「わたしのみらいゼミ」は??

看護について by 小豆島中央病院看護部 R6.10.7(月)

現場で働く看護師さんが、実体験を話してくれます。看護に興味のある人はもちろん、医療系を視野に入れている人、病院で働くことに興味のある人、はたまた夢が特に決まっていない人などなど、是非参加して、自分の視野を広げよう! (申込先: 岡橋先生、池本先生)